

注目の新設校インタビュー

お話 狭山ヶ丘高等学校附属中学校

(認可申請準備中)

狭山ヶ丘高等学校 校長 小川義男 先生



編集部 よろしくお願ひいたします。早速ですが、狭山ヶ丘高校に中学を開校して中高一貫教育を実施しようとお考えになったきっかけからお願いします。

小川 卒業後の進路の面では、全員東大に十分合格できる実力を身につけさせたい、少なくとも難関国立大学や早慶上智などは確実に合格できる力を身につけさせたい、もっと伸びようとする生徒は、国内に限らずハーバード大やプリンストン大、マサチューセッツ工科大などに積極的に進学できる力を身につけさせたいと考えたからです。

編集部 現在、高校入学でI類(最難関国公立大学進学コース)がありますが、それだけでは不十分、ということですか。

小川 I類の生徒たちはがんばっていますし、実力も育っています。でも時間的に3年間では厳しい面があることも確かです。旧制中学は5年制でしたが、5年あれば、楽な道ではないにしても何とか生徒たちの希望をかなえることができます。ただ、今の学校教育は6-3-3-4制ですから、それなら中学を開校して6年間かけて教育しよう、と考えました。

編集部 進路の面が第一なわけですね。

小川 いいえ。進路は重要ですが、大切なことは、その進路を通してどのような人材を世に送り出すか、です。今の日本は、各界のリーダーが非常に小粒になっています。おそらく歴史上一番小粒な時代でしょう。今後の社会を考えると、これではいけません。次世代を担う、大きな器を持った真のリーダーの育成が急務です。東大をはじめと

する最難関大学や、海外の一流大学への進学も、真のリーダーへの道筋と考えるからです。

編集部 真のリーダーに必要な条件とは何でしょうか。

小川 2点あります。1点目は知力です。東大などの最難関大学や海外の一流大学にはハイレベルの教育環境があり、教授陣も最高です。こうした環境で学問に取り組んで英知を身につけることが必要です。また、こうした大学では、同窓の友からも貴重な人格的影響を得ることができます。

編集部 2点目は何でしょうか。

小川 もう1つは人間力、言い換えれば「愛」です。人間の本質は決して利己的なものではないはずですが、今の社会ではとにかく利己的な人を見かけます。自分を愛するように家族や友人を愛し、家族や友人を愛するように他人を愛し、慈しむ心がなければ、真のリーダーとはなりえません。愛する他者のために精いっぱい尽くす、利他的な心がけが必要です。

編集部 その2点を身につけていくために、どのような方針で臨むのでしょうか。

小川 極限まで知力・体力を磨き上げること、常に己を省みる自己観察を実践することでしょう。知力の面では先ほどのように、最難関大学や海外の一流大学への進学が十分できる学力をつけていきます。体力を鍛え上げるためには運動を積極的に奨励しますし、年3回ほど軽登山も行います。また、総合学習の時間に農業体験を行ないます。

編集部 農業体験の施設があるのですか。

小川 所沢に実習場として700坪の畑があります。

畑を耕し、作物を育てます。農作業は肉体労働ですが、体を鍛えるだけでなく、自然に働きかけて作物を得るといふ、人間にとって基本となる労働をしっかりと体験し、勤労観の育成にもつなげていきます。収穫した作物は家庭に持ち帰らせます。

編集部 自己観察についてはいかがでしょう。

小川 本校では開校以来、毎授業ごとに短時間ですが「黙想」を行なっています。「黙想」は「今の自分は果たしてこれで良いのか？」と、自分自身を省みる時間です。「黙想」を繰り返し行なうことで、他者との関わりの面で成長を促していきます。

編集部 授業についてうかがいます。週6日制ですか。

小川 週6日制です。

編集部 授業の進捗はいかがですか。

小川 主要教科については、中3で高1の教科書に入るペースで考えています。ただ、授業時間数が多いので、毎回の授業の進捗が早い、ということではありません。

編集部 そうなると高校から入学する生徒とは別の指導になるわけですね。

小川 進捗が違いますからそのようになるでしょう。ただ、「高校3年間もまったく別」を前提に考えているわけではありません。中学からの内部進学生については高校入学段階でかなり実力を持っていると思いますが、高校入学のI類(最難関国立大学進学コース)の生徒たちと競う部分も大切だと思っています。状況に応じて一緒に学習できる機会も考えていきます。

編集部 特に国語と英語には大きな特色があるようですが。

小川 国語では漢字・語句などの知識や現代文といった内容も重視しますが、特に古文には力を入れていて、論語の素読を行なっています。論語に示された人の生き方、論語の意味を自分の人生にどのように結びつけるかを学ぶだけでなく、韻律の美しさなども学びます。明治の文豪は幼少期に論語を学ぶことで土台を築いた人が多いのですが、狭山ヶ丘の中学生にもこうした土台を築きます。

編集部 英語はいかがでしょう。

小川 中学段階の英語は実用英語に力点を置きます。最初は300語くらいの丸暗記を中心に、外国人と堂々と接することができるよう、経験を積んでいきます。本校はALTが常に常駐していますから、外国人を避けるような姿勢を打ち消していきます。自信がつけばコミュニケーションも活発になります。

編集部 会話中心、ということですか。

小川 会話のみ、ということではありません。もちろん文法や語句の知識などにも十分な時間を割いていきます。ですから、高1段階では英語で書かれた原書を年間5冊読破します。さらに高2では英字新聞が読めるように育成します。これは現在でも高校入学生に実施していることですから、十分やっていけます。できれば、高校段階では国語以外の他の教科を英語で学ぶところまでもっていきたいと思っています。

編集部 語学研修などは予定されているのでしょうか。

小川 中学ではイギリスのハロゲートかケンブリッジで40日間くらいの語学研修を全員参加で実施したいと思っています。どちらも環境は良いところです。午前中はしっかり英語を学び、午後は自由時間として若い感受性で現地の文化にふれてほしいですね。高校では希望制でバンクーバーでの約1ヶ月の研修を企画しています。

編集部 英検対策などはお考えですか。

小川 高校入学生では英検対策を行っていますが、中高一貫では海外大学進学も考慮して、英検よりもむしろTOEFLへの対応でしょう。高スコアの力を育てていきます。

編集部 補習や補講はいかがでしょう。

小川 高校では伝統として早朝学習の「朝ゼミ」を行なっていますが、中学生も実施します。そのほか、長期休暇中など、各種講習も行ないます。学習姿勢や到達状況などは、頻繁に担任や教科担当が面談を行なって指導します。勉強のことは学校にお任せください。

編集部 今度は生活面についてうかがいます。中

学生の教室はどちらに配置されるのでしょうか。

小川 最初は一昨年完成した3号館の3階を中学生の専用フロアとします。特別教室やグランド、体育館などは高校生と共用です。再来年、中学2期生を迎えるときには古い校舎を新しく建て替える予定です。その時期から中学生は新校舎に移します。新校舎には食堂も整備します。



中学生の教室が配置される3号館

編集部 中学生も食堂が利用できるのですか。

小川 もちろんです。来年1年間はお弁当を用意していただくか、購買で購入してください。お弁当のお店も入っていますから、いろいろ選ぶことができます。2年目からは、お弁当でも構いませんが、食堂も存分に利用してください。

編集部 クラブ活動は高校生と一緒にですか。

小川 原則は高校生と一緒に考えています。ただ、体力差や発達段階もありますから、配慮した活動内容を各クラブの顧問が考えて実施します。活動日などは、中学生の希望と生活状況などを見て決めていきます。最初から「週〇日」のように枠を決めることは考えていません。

編集部 放課後、クラブ活動などでおなかのすくこともありますが、この点はいかがでしょう。

小川 自習室が夜まで開いていますから、購買も夜まで営業しています。食事心配することはありません。

編集部 高校生は自習室でかなり夜遅くまで残っているようですが、中学生も同じですか。

小川 特別自習室は夜9時、一般自習室も夜7時

まで開いています。ライバルがいると学習がはかどると考える生徒が多いようですね。ですが、中学生は安全面もありますので、夕方には帰宅させ、その分家庭学習でがんばってもらいます。

編集部 通学は武蔵藤沢駅から徒歩が中心だと思いましたが、西武池袋線以外からはどのようなのでしょうか。

小川 スクールバスを東武東上線・JR川越線川越駅、西武新宿線の狭山市駅・入曽駅、JR八高線箱根ヶ崎駅からも運行していますので、広域からも通学は便利です。

編集部 では入試についてお聞かせください。

小川 全体は80名募集で、4回の入試を予定しています。1回は1月10日で40名、2回は1月12日で25名、3回は1月18日で15名、最終回は2月6日で若干名募集です。国語、算数、理科、社会の4教科を原則とします。

編集部 出題方針をお願いします。

小川 各教科とも中学受験生としての基礎、基本ができているかどうかを確認できる問題で、奇問は出題しません。ただ、配点は小さくても高度な問題は必ず1題は出題したいと思います。高度な問題が解けるような、光る才能のある受験生は、他の教科で少々点数が届かなくても合格させたいと思います。才能を本校で一層伸ばしたいと思っています。

編集部 最後に受験生、保護者の皆さんにメッセージをお願いします。

小川 狭山ヶ丘での6年間は、文字通り「鍛えぬかれる6年間、自己の限界に挑戦する6年間」になります。厳しい内容ではありますが、自分を高めていきたいと考える受験生の皆さんの、本校への挑戦を待っています。

編集部 ありがとうございました。

狭山ヶ丘高等学校附属中学校(認可申請準備中) 交通案内 西武池袋線武蔵藤沢駅から徒歩約13分
川越駅、狭山市駅、入曽駅、箱根ヶ崎駅よりそれぞれスクールバスあり

○説明会 7/21(土)・8/25(土)・9/16(日)・10/8(祝)・11/3(祝)・12/8(土)各10時～